指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム陽だまりの園	評価対象年度	平成23年度
事業者名	·事業者名 社会福祉法人照陽会 ·代表者名 理事長 髙橋 照比古 ·住所 川崎市多摩区栗谷2-16-6	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日~平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

_	中条中律
2	串業末縛

在籍者数 49人(平成24年3月31日現在:入院等不在者を含む)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
利用者数	0	2	6	20	21	0	49

②通所介護事業(通所定員 26.9人/日)

年間延べ利用者数 6,947人:定員に対する稼働率 79.2%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	589	622	626	564	627	592
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	562	556	554	523	547	585

③短期入所事業(通所定員 10人)

年間延べ利用者数 2,719人:定員に対する稼働率 74.3%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	262	223	242	231	240	227
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	240	207	199	229	197	222

④居宅介護支援事業

給付管理者数(平成24年3月分)

介護度	要介護1	要介護2	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計
管理者数	11	9	8	1	4	2	35

⑤地域包括支援センター事業

相談件数及び訪問件数

相談	者数	訪問者数(左の再掲)
実相談者数	延べ相談回数	実訪問者数	延べ訪問回数
1,467	1,478	1,224	1,224

相談内容

介護保険サービス	福祉サービス	権利擁護	その他相談
979	110	137	601

プラン作成件数

介護予	防プラン	市単サービスプラン
総件数	うち委託分	総件数
194	20	0

収支実績

①特別養護老人ホーム事業

(収入)

介護料収入	159,404,357
利用者等利用料収入	35,639,599
その他の事業収入	9,951,481
合計	204,995,437

②通所介護事業

(収入)

介護料収入	60,992,900
利用者等利用料収入	6,829,805
その他の事業収入	1,158,611
合計	68,981,316

③短期入所事業

(収入)

介護料収入	23,003,701
利用者等利用料収入	6,897,110
その他の事業収入	574,846
合計	30,475,657

(支出)

人件費	123,159,152
事務費	13,479,507
事業費	39,614,211
合計	176,252,870
(収支差額)	28,742,567

(支出)

人件費	56,680,207
事務費	2,915,273
事業費	10,660,253
合計	70,255,733
(収支差額)	-1,274,417

(支出)

(ДШ)	
人件費	24,250,866
事務費	2,268,533
事業費	7,242,655
合計	33,762,054

(収支差額) -3,286,397

	④居宅介護支援事業		(
	(収入)		(支出)		
	介護料収入	5,284,523	人件費	4,959,161	
	利用者等利用料収入	0	事務費	394,525	
	その他の事業収入	0	事業費	180,000	
	合計	5,284,523	合計	5,533,686	
			(収支差額)	-249,163	
	①~④合計(⑤地域包括支援	センター事業は別途委託	のためここでは計上せず)		
	(支出)				
	介護料収入	248,685,481	人件費	209,049,386	
	利用者等利用料収入	49,366,514	事務費	19,057,838	
	その他の事業収入	11,684,938	事業費	57,697,119	
	合計	309,736,933	合計	285,804,343	
			(収支差額)	23,932,590	
	⑤地域包括支援センター事業				
	(収入)		(支出)		
	介護料収入	6,423,342	人件費	15,037,814	
	その他の事業収入	0	事務費	3,020,211	
	経常経費補助金収入	18,339,074	事業費	480,000	
	合計	24,762,416	合計	18,538,025	
			(収支差額)	6,224,391	
サービス向上の取組	排泄研究チーム(自然排便を	と促す会)を立ち上げ、排泡	泄ケアの充実を図った。		
	家族との連携を図り、入居者				
	入居者の残存機能の維持、	寝食分離の推進、徐圧・体	は位交換による褥瘡予防に努め	た。	
	入居者の嗜好に合ったバランスのとれた献立作りに努め、音楽を流す等による雰囲気作りや適時適温での提供を行ったほか、座席と職員配置の検討やソフト食研究チームの立ち上げ等、より良い食事形態への検討等を行った。				
	た。 ウカ カカボ(ケ) を手をか) こ	Ahni 4			
	内部・外部研修に積極的に				

3 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点		
	質の高いサービスの 提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	×2	4	8		
適正		利用者等への情報提供等は十分に行われているか					
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか					
か業務	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	×2	5	10		
米務実施		感染症への対策は適切に行われているか					
施 (評価の理由) 入居者の人格を尊重し思いやりの心をもった処遇、入居者の嗜好に合わせた食事提供等に努めたほか、中学 園等との交流など、地域交流を積極的に行った点が評価できる。 健康管理については、健康診断による疾病の早期発見や褥瘡予防のほか、手指消毒剤等の設置や薬剤による 用意等により、感染症予防と早期発見に努めた点が評価できる。							
収支計画・実績	効率的・効果的な支 出	計画に基づく適正な支出が行われているか	×1	4	4		
		支出に見合う効果は得られているか					
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか					
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	×1	3	3		
		収入増加のための具体的な取組が為されているか	^1				
	適切な金銭管理・会 計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	×1	3	3		
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
		・ ム事業の定員が少ないため経営条件は厳しいものの、安定した運営を行っている点が評価いては、前年度に比べて人件費等の増加により、約1300万円の黒字から一転して約130万F れる。		なったため、	利用増加		

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	V.0	3	6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか	×2			
		サービス向上のための取り組みがなされているか	×2		8	
	業務改善によるサー ビス向上	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか		4		
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	×2	4	8	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	(評価の理由) 排泄研究チーム、ン が評価できる。 サービス毎の常設? 入れる体制づくりを行	・利用者の	意見•要望			
		必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか				
	適正な管理体制の 構築	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	$\times 1$	3	3	
	III X	- 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認 が為されているか				
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	×2	4	8	
組織管理体制適正な	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	×1	4	4	
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為 されているか	×1	4	4	
		個人情報の管理は適切に行われているか				
	(評価の理由) 内部・外部研修に積極的に参加しており、特に内部研修に力を入れている点が評価できる。 事故防止については、マニュアル等の整備や発生事故の詳細な分析等を行っていることもあり、事故件数及び医療機関受診案件が前年度に比べ大幅に減少している点が評価できる。 個人情報の管理は適切に行われていると評価する。 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか					
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。	×2	3	6	
	施設・設備の保守管 理、清掃、警備等	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか				
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立って				
正 な	工(1120)(日 000 4	(L)A7)				
Œ		いるか 外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか				

4. 総合評価

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

各種研究チームの立ち上げ等により、質の高いサービス提供に向けた取組が評価できるが、アンケート等により積極的に利用者等の意見・要望等を収集する取り組みが求められる。

職員の資質向上について力を入れているほか、事故防止についても取組を行っていることにより、事故発生件数が大幅に減少している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、サービスの質の向上に努め、質の高いサービスの提供に取り組むこと。 安全管理をさらに徹底することで、事故防止に努めること。